

水橋池（みずはしいけ）



諸元

貯水量	267.0	千m ³
満水面積	6.6	ha
受益面積	78.0	ha
堤高	10.5	m
堤長	278.0	m

水橋池は、旧綾歌町役場の南東約 500m の丘陵に位置する福成寺の東側に接しており、栗熊地域の田畑の様子が一望できる素晴らしいロケーションにあります。貯水量は 267.0 千 m³ を有し、綾歌町栗熊、富熊地域 78.0ha の農地を潤すかんがい用ため池となっています。また、池の創築は非常に古く、「福成寺縁起」には、室町時代の初期に既に水橋池が存在していたことを示す記述が見つかっており、今から約 600 年も前に築造された歴史あるため池です。

現在約 14,000 箇所ものため池が存在している県内においても大規模なため池になっていますが、幾度かの増築を重ねて現在の大きさになっています。近年の改修工事は、老朽化により決壊を危惧する声が高まったことによるものでした。昭和 54 年に当時の水橋池土地改良区（現丸亀市綾歌町土地改良区）が、堤体の全面改修を行うことを決議し、翌 55 年、県営老朽ため池整備事業として採択され、以来 5 年の歳月と総事業費 1 億 2,500 万円余を費やし、昭和 60 年 3 月全工事を完成し現在の姿になっています。

また、水橋池は綾歌町十景の一つに「福成寺と水」と題して選ばれています。丘の上には県下でも有名な寒桜が数十本並んでおり、1 月終わってから咲き始める桜が 2 月になると満開を迎え、野鳥と桜との調和が心を和やかにさせてくれる空間を生み出します。時には、文人や観光客も訪れる水辺環境であり、親しみ深いため池といえるでしょう。



水橋池と桜



水橋池改修記念碑